

会議名	第 16 回杉並区立永福南小学校・永福小学校統合協議会
日 時	平成 24 年 2 月 17 日（木）午前 10 時～午前 11 時 45 分
場 所	永福南小学校 視聴覚室
出席者	統合協議会委員 19 名（欠席 4 名）
傍聴者	2 名
次 第	1 開会あいさつ 2 議題 校歌について 3 報告 (1) 永福小学校平成 24 年夏季休暇中の改修工事中について (2) その他 4 その他
資 料	資料 1 第 15 回統合協議会で出された校歌・校章等に関する主な意見 資料 2 永福小学校既存校舎棟の改修工事内容（平成 24・25 年夏季休暇中）

会長	<p>おはようございます。第 16 回杉並区立永福南小学校・永福小学校統合協議会を開催させていただきます。</p> <p>お気づきの方もいると思いますけれども、今日は両校の 1 年生が交流のため、体育館でドッジボール大会をやっていました。見ていると、本当に一緒になってボールに向かって、投げたり、取ったりと大はしゃぎをしていました。こうやって楽しく過ごしていく中で、だんだん子どもたちの交流が深められていくんだなと感じました。また、PTA のほうの交流も既に何回か設けられていますし、来年度の方向についても話をされているようです。また後ほど PTA の方々からそのことについてお話をいただければと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>まず初めに、学校適正配置担当課長にごあいさつをいただきます。</p>
学校適正配置 担当課長	<p>高円寺地域の新しい学校づくりに動きがあったので報告します。平成 21 年に杉並第八小学校が検討対象校になり、この間、関係校と教育委員会で話し合いを進めてきました。意見交換の場から、計画策定を進めていくために、3 月から準備会をつくることになりました。杉並第四小学校、杉並第八小学校で新しい小学校をつくり、そこに高円寺中も含めた施設一体型小中一貫教育校を設置する案を基に具体的な計画策定のための協議の場を設けます。教育委員会からの提案では、平成 29 年 4 月に新しい学</p>

	<p>校を開校するという内容になっています。</p> <p>今回は校歌についてですので、いろいろと大変かもしれませんが、よろしく願いいたします。</p>
会長	事務局から本日の配付資料の確認並びに説明です。
学校適正配置 担当係長	<p>資料は、次第のほかに資料1「前回出された校歌・校章に関する主な意見」と、資料2「永福小既存校舎改修工程」です。資料2は統合に向けた改築工事を24年の夏休みに実施するので、その報告時に使用します。</p> <p>また、本日も2人、傍聴の方がいます。ご承認お願いいたします。</p> <p>資料1についてです。前回出された校歌・校章に関する意見を事務局で集約したので、確認をしていきたいと思います。</p> <p>まず、校歌・校章、それから歴史の考え方をどうしようかという討議での基本的な視点は、現在の在校生である、子どもの立場に立って考えていくということ。これについては皆さん異論はなかったと思います。</p> <p>校歌については、「新しい校歌をつくる」、「新しい校歌をつくらない」という大きく2つの意見が出ました。</p> <p>まず、「新しい校歌をつくる」意見ですが、その理由として、統合校の校名を決めた際に、地域の学校として新しく「永福小学校」をつくっていくということでしたので、その理念を考えると、校歌・校章も新しいものに変えるべきであるということでした。</p> <p>その理由としては、校歌・校章を新しくしないと、周囲は「統合」と思わないであろうということ、統合に向け子どもたちの意識づけが必要であること、現永福小の校歌は60年前の環境を歌ったもので、現在の環境とは違うのではないかとということ等があげられました。</p> <p>具体的に歌詞はどうするかということについては、今の学校環境に応じた内容で新たにつくり直したらどうかという意見と、昔のイメージを保ちつつ、昔があったから今があって、さらに未来につながっていくという視点も大切にして歌詞をつくったらどうかという意見がありました。</p> <p>作成の方法は、基本的に作曲はプロに依頼する。歌詞は両校の子どもたちの意見、イメージなどを取り入れて、プロが補作したらどうかという意見と、作詞・作曲ともプロに依頼をするという意見が出されました。</p> <p>これに対し、「新しい校歌をつくらない」という立場に立った意見ですが、確かに今の永福小の校歌は60年前の環境を歌ったものですが、古いものを残していくことも非常に大切であるという意見がありました。また、永南小の校歌は子どもたちに非常にわかりやすい言葉であるという意見、両校とも校歌を新しくすることに対して地域の納得が得られないので</p>

	<p>はないかという意見、当然のことながら、両校とも今の校歌に愛着があるという意見がありました。</p> <p>校歌をつくらない場合はどういう方法をとるのかということについては、両校校歌を継承して、第一校歌、第二校歌としてはどうかという意見と、校歌とは別に、子どもたちに加わってもらって「みんなの歌」のようなものをつくってもいいんじゃないかという意見も出ました。</p> <p>次に校章については、「新しい校章をつくる」、「新しい校章をつくらない」という2つの大きな意見に大別されます。</p> <p>校章をつくるという立場に立たれた理由は、校歌と同じです。具体的な作成方法については、現在の両校の校章をクロスさせるイメージでデザインしたらどうかという意見、この統合協議会でも議論を重ねてきた統合新校の教育目標をイメージできるデザインにしたらどうかという意見、なおかつ両校の校章をクロスさせて、教育目標をイメージできるデザインにしたらどうかというご意見もありました。</p> <p>新しい校章をつくらない場合にどうするかというと、コミュニケーションマークを作成して、現在の校章と併用する。公式行事では校章を使用して、それ以外はコミュニケーションマークを使用したらどうかという考えです。コミュニケーションマークには統合の象徴としての役割を担わせて、子どもたちの意識づけを高める。校章を新しくしなくても、これによってその意識づけをしていくことは十分にできるんじゃないかという意見です。また、区の財政状況が逼迫する中、校章作成にコストをかけることは問題であるという意見もありました。さらに校章を変えることに対して地域の理解が得られないのではないかという意見もありました。</p> <p>他に校章とコミュニケーションマークは別として、校章を新しくする、しないにかかわらず、コミュニケーションマークをつくるという視点での議論も必要ではないかという意見がありました。</p> <p>最後に統合新校の歴史の考え方についてです。平成25年度を統合1年目とするという考え方、反対に、地域の学校としての歴史を引き継いで、平成25年度は62年目と考え方も出されました。これに関連して、平成25年度を統合1年目とするなら、校歌・校章は新しいものにすべきだし、校歌・校章を引き継ぐのだったら、25年度を62年目として考えるべきではないかという意見が出されました。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>前回、校歌・校章についてフリートキングをしていただいて、この4つの視点についてまとめました。「校歌」、「校章」、「コミュニケーション</p>

	<p>マーク、「歴史」ということで、この間出された意見がすべてここに網羅されていると思います。</p> <p>本日は校歌についてですので、事務局作成資料をもとにして、話し合いを進めたいと思います。</p> <p>前回は確認したんですけども、これからいろいろなことについて決めていかなければならないのですが、現在の子どもたちの立場に立って考えていきたいと思いますというところが大前提です。子どもたちが25年度の統合のときにどうなのか、子どもたちの思いを大切にしながらさまざまなことについて考えていくことが一番大きな視点なので、そこも考えながらご意見をいただければと思います。</p> <p>また、やはり地域の学校ということ、永福地域の学校として25年度スタートですので、そういうことも含めながら、ご意見を十分出していただいて、その中で十分話し合いを重ねながらコンセンサスを得ていきたいと思っています。それでは、校歌についてご意見をお願いします。</p>
委員	<p>今までの議論は、割と個人的な意見で進んできたのですが、現在の子どもの立場に立ってとなると、現役の子育てが終わった世代にはかなり難しいのです。そこはどういうふうに考えていったらいいでしょうか。</p>
会長	<p>今の子どもたちの実態などではなくて、統合したときに両校の子どもたちがうまくかわり合いを持ちながら、「じゃ、一緒に新しい学校でやっていきましょう」という思いが持てるような考え方に立ちながら話し合いをしていきたいと思います。</p> <p>もちろん卒業生があつての今の学校なのですが、卒業生のことを考えるという視点だけではなくて、統合したときの今の子どもたちのありようをベースにしながら考えていただければと思います。恐らく皆さんも今までそういう視点はお持ちだと思いますが、もう一度そういう視点をベースにしながら意見を出していこうという理解でよろしいですか。</p>
委員	<p>子どもたちというのは、永南小も永福小の子どもも両方という意味で理解しないといけないと思います。両方の子どもが同じようにみんな和気あいあいと過ごせるような学校づくりが一番ベースになると思うので、その辺ちょっと蛇足ですけども、つけ加えさせていただきます。</p>
委員	<p>私は、皆さんのお考えになるヒントになるのではないかと、新聞の投書からご紹介したいと思います。ことしの1月29日(日曜日)の新聞です。この文章に、未来に羽ばたく子どもたちが言葉では言い尽くせないこと、あるいは保護者、親の気持ち、地域の方々の率直な気持ちがあらわれていると思います。では、読み上げてみます。題名は「復興での学校</p>

	<p>の統廃合はやめて」です。</p> <p>「年が明けて、昨年の東日本大震災による復興計画が、やっと動き出したように感じています。ただ、そこに学校の廃止とか統合という言葉があると少々、さびしい気持ちになってしまいます。特に、生徒数だけで学校が統合されることだけは避けていただきたいと思います。たんなる郷愁だけではありません。小中学校は地域の核であり、地域の人よりどころで、地域づくりの単位です。こういうときだからこそ、学校を中心にしたコミュニティの復活が必要な気がします。バスで行き、バスで帰ってくる子供たちではなく、地域の中で学ぶ子供たち、地域の人材を活用した世代を超えた子供たちとの交流が必要な気がします。財政のこと、統合による教育上の良い影響があることも十分に承知していますが、それ以上に地域づくりに欠かせないのが学校の存在と思います。このへんに地域活性のヒントがありそうにも見えます。」</p> <p>参考にしていただければと思って、紹介しました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。地域づくりのコミュニティとしての学校のありようについての内容だと思います。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。最後には全員が何か一言しゃべって帰っていただければと思っています。ここである程度の方向性、いずれにしろ方向性を出さなくてはいけないことですから。このまま25年を迎えるわけにはいきませんので、ぜひ地域の皆さん方、保護者の皆さん方のご意見やお考えをお出しいただければと思います。</p>
委員	<p>前回の話し合いの中で、校歌を変えると費用がかかるというお話も出たんですが、会議の場では、私たちは費用がかかるとか、かからないとかも考えて発言する必要があるのでしょうか。</p>
会長	<p>費用のことについては特に考えないで結構だと思います。どうあるべきかということで考えていただければと思います。</p>
委員	<p>でも、地域の人たちは税金を払ってこの学校を応援しているのです。ですから、ここでそれを言ってしまうのは地域の方は納得しないんじゃないかと思います。</p>
会長	<p>お金をかけていいということではなくて、お金をかけないことをベースに話し合いを進めないということです。どうあればいいかということをお話していただければ、恐らく地域の方々もその辺についてはご理解いただけると思っています。</p>
学校適正配置 担当係長	<p>実際の運用の面でどのようにしていくかは別の問題です。むろん予算の制約があるので、外注するにしても、当然一定の金額の範囲の中でやって</p>

	いただける方にしか頼めないということになります。
委員	子どもたちが統合のテンポの中に入り込んでいかなきゃいけないという意味では、どんな格好にせよ校歌の作成にも参加してもらったほうがいいと思います。そうすると、当然校歌は、つくらなきゃいけないだろうと考えます。
会長	新しい校歌をつくるか、既存のを使うかという話ではなくて、校歌というものを存在させていくかの確認ですが、そのことについては皆さんいかがですか。学校によっては校歌がないという学校もあるのです。永福小学校、永福南小学校ともに、それぞれの校歌を持っているわけですがけれども、新しい学校についてはいかがでしょうか。
委員	校歌がないというのは初めて聞いたのですが、どうしてなんですか。
会長	杉並区内の小学校にはそういうところはないのですが、他地区の小学校では校歌をつくっていない学校もあります。いきさつはよくわかりません。それは今までの学校の、あるいは地域での事情があって、特に校歌をつくる必要はないだろうというような考えになったからだと思います。
委員	校歌は式典のときのほか、いつ歌いますか。
会長	永福小学校では始業式、終業式、修了式、卒業式、運動会や、PTA総会、歓送迎会、教員の離任式等で歌います。儀式的なときや、子どもたちがみんなで集まる行事のときに歌っています。
副会長	多分どこの学校も今あげられた行事のとき校歌を歌います。永福南小で今度、6年生を送る会で、みんなで校歌を歌います。何かで全校みんなが集まると、最初なり最後に歌います。1年生の入学時に「迎える会」をするのですが、1年生の首にかけるペンダントの裏に校歌の歌詞があり、それは「早く校歌を覚えてね」という上級生からのメッセージです。それとともに、1年生が入学するとすぐ音楽でも最初に指導するものの1つが校歌なのかなと思います。音程、歌詞、その由来とともに、これはどういうことを言っているのということも、学級担任や音楽専科のほうでも指導しています。
委員	校歌だけについてどう思うかと聞かれると、なかなか答えるのが難しいなというのが正直なところですが、実際のところ、現在の永福小に永南小の子たちがクラスに何名かずつ入ることになると思うんです。そのとき、永南小の保護者の方が一番心配するのは、みんなとすんなり仲良くできるだろうか、仲良くしてくれるだろうかということだと思います。すんなりいかせるために、本当に子どもたちのことを考えるのであれば、何も変えないということに尽きるんじゃないかなと私は思うんですね。

	<p>ただし、永南小関係者の方を含めて、地域の方たちのコンセンサスをどれだけ得られるかということ考えたときに、この協議会で議論を重ねること、話し合いをすることはとても大事なことです。それで、どうするかということを考えなければなと思っています。</p>
委員	<p>今のは、結局、1つのところにみんなが一緒になった後で、周りの大人たちが考えるべきだという意見だと思うんですね。それぞれが永南小の代表、永福小の代表として、永南小の子どもたち、永福小の子どもたちをまず考えなければいけない今の状況の中では、この議論はなかなか難しいことだと思います。今までの話し合いの中で、結局、永南小の子どもたちは、永福小の子どもたちは、という視点で話している部分があると思うんです。</p> <p>25年度から子どもたちが一緒になったときに、私が人数のことを言うと、永南小の方は「また人数のことを言う」とおっしゃるけれども、現実的に、やはり少数の子どもたちが入っていくときに、その子たちが大勢の子たちから何かされないか、言われないか、対等に話ができるか、ひるむんじゃないか、そこが一番心配です。</p> <p>一緒になったら絶対に子どもたちは不安だと思うんです。どっちがと言ったら、みんなですっと何十人いるところに入っていきわけですから、ドキドキ不安で、友達がうまくできるかなというような状況になるんです。私が学校関係者の一人として何をするかと言うと、そういう子たちを守って、励まして、すんなりとうまく溶け込んで、対等にけんかができるくらいになるようにサポートしていくことだと思います。</p> <p>やはり今の状況で、それぞれが代表で出てきている以上、こういう話は絶対に進まないと思うんです。永南小、永福小ということではなくて、現実的に1つになったときに、一人ひとりその子たちがどういうふうに生活をしていけるか、どうやって友達をつくっていけるかということが一番を考えなければいけない。</p> <p>また1つ心配なのが、例えば今の永福小の子どもたちが「何だよ、おまえ」とか「嫌だよ」と言ったときに、もし普通にずっと1年生から来たクラスだったら、「すごい強い子がいるのよね」だけで済むのが、もしかしたら、永南小の子にそれを言っただけで、永南小の保護者の人が「ああ、やっぱり。大人数だから」とって、そこに尾ひれがついてくるんじゃないかということもあります。</p> <p>保護者もずっと慣れ親しんで、1年生からずうっと一緒にいて、「あの子がこうなのよね」、「この子がこうなのよね」と言ってツーカーの仲で来</p>

	<p>ている中で、公園デビューじゃないですけども、すごく不安だったりするんじゃないかなと思うので、そこら辺を私たちは考えて、現実的な問題で話し合っていないといけないかなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ちょっと話がそれてしまうかもしれないんですけども、最近の子どもたちというのは、-「仮想的有能感」という言葉が最近ちょっと言われるようになってきたのですが-、自分の立場を維持するために人をばかにしたり、けなすようなことを言って、自分が優位な立場に立っていくというケースが確かにふえてきていると感じます。</p> <p>それは何故か考えてみると、自己肯定感 自分は頑張ればできるんだ、自分がもう少しやってみようという思いが非常に低い。学年が上がれば上がるほど、「頑張ったってこの程度だよ」というような、もう自分の先が見えてしまっているところに原因があると思います。だから、そういう子たちに、もっと自分たちも力があるんだ、力が発揮できるんだ、頑張ればやれるんだという思いを持たせなくてはいけないということで、永福小学校では進めています。</p> <p>恐らく子どもたちにもっとそういう気持ちを、まさに「人にやさしく」という教育目標、「やさしさ」と「つよさ」という教育目標ができたわけですから、双方の学校が統合したときも、生活指導の中での一貫した指導を徹底していかなければいけないと思っています。</p> <p>そして、今、委員が言ったようなことが起きないように、双方の教員が集まって、またことし1年間交流をしながら、生活指導はどうあるべきか、児童指導をどうしていったらいいかということを考えていきます。教員レベルでも十分考えていかなければいけないと思っています。</p> <p>また、校歌・校章についてですが、なかなか意見が言えないという部分もあるかと思うんですけども、やはり地域の学校としての永福小学校ですので、保護者の皆さん、地域の皆さんにも学校をつくって、子どもたちを育てるという視点からかかわっていただきたいと思います。まさにそれは学校支援本部の取り組みであるし、学校運営協議会の使命です。</p> <p>杉並区では地域との協働、地域と連携をとりながら学校づくりを進めていくという大きな目標があるので、そういう意味からも皆さん方の話をいただいて、ぜひ教育活動に参画していただき、校歌・校章の話に臨んでいただければと思います。</p> <p>繰り返しになりますが、いずれにしる校歌・校章はつくっていかねばならないので、十分議論を尽くして、そして、お互いが理解をした上で進めていきたいと思うので、どうぞその辺もご理解いただきながら話をしていただきたいと思っています。</p>

	<p>ちょっと話がそれてしまいますけれども、そのような視点で、ここできょう決定しようということではなくて、決定できないのだったら、また事務局で整理して、話し合いの場を設けるといことも考えます。前回の校名のときもそうだったように、きちっと話し合いをした上で、納得した形で進めていきたいと思います。</p>
委員	<p>質問ですけれども、今のお話だと、永福小と永南小が統合されても学校運営協議会はそのまま残るといことは決定なんですね。永南小は評議員会ですけれども。</p>
会長	<p>そこについては、全くまだ話はしていないんです。ただ、運営協議会も学校づくりに参加しているので、例えば永福小で言えば、地域の学校づくりに運営協議会も参加しているので、あえて使わせていただいたんですけれども、運営協議会が存続するかしないかということについては、まだここでは決めていないということです。</p>
委員	<p>以前、学校支援本部も統合校ができたときの新しい校長先生次第だといお話もあったんですけれども、存続する前提でいいんですか。</p>
会長	<p>学校支援本部という組織を各学校に立ち上げて、一緒になって教育活動を進めていこうというのが区の施策の1つなので、学校支援本部については、継続されていこうと思います。</p> <p>ただ、そこにどういう人たちが集まってくるか、あるいはどういうグループができるかということについては、またこれから考えていかなくてはいけないことだと考えています。</p> <p>学校運営協議会も、区は、最終的には全校にまで広げたいという思いを持っているので、そこもある程度、継続を前提として理解していただければと思います。</p>
委員	<p>今までのお話を伺っていて、我々委員だけで校歌をどうするこうするということではなく、子どもたちも含めて皆さんで新しい校歌を考えてみてもいいのではないかと思います。そうすると、また違った感じで、統合後の子どもたちも含めてみんなでこういう校歌がいいなというものができれば、なおいいんじゃないかと思いますが、いかがですか。</p> <p>今までの永福小学校の校歌にはこういういいところがあるよというのを子どもたちに示したり、永南小は、設立当時高三小、和泉小、永福小から子どもたちが集まってきた経緯があって、その中でああいう素敵な校歌ができてきたのだと思うのですが、今の子どもたちはそういうことまでは知らないなので、そういう昔の歴史も教えたりしながら、新しくどういふうにつくっていこうかと考えていくのもいいと思います。</p>

会長	<p>子どもたちがどういう形で参画するかは別としても、新しい校歌をつくっていったらいかがでしょうかというご意見でした。</p>
委員	<p>低学年の子に「統合」というのを教えるのが難しいから、簡単に「なくなる」と教えているお母さんもいると思うんです。実際、永南小の子は「永南はなくなるから自分はどうなるんだろう」みたいなことを言っています。多分、永福小のほうにも、「統合」はお母さんが、子どもにわかりやすいように「永南がなくなる」と伝えたと、子どもは「永南がなくなるんだ」って思うのではないのでしょうか。</p> <p>一緒になったときに、「永南はなくなった」と言われると、怒る子もいれば、ぐっと我慢して「なくなったんだ」と思ってしまう子もいるんですけども、もし校歌が新しくなると、そうじゃないというガードができるんじゃないかなと思います。永福、永南に関係のない地域のお母さんからも「永南はなくなっちゃうんだよね」って言われます。結局は「統合」という言葉じゃなくて、「なくなる」という言葉で言われてしまうので、もしどこか1つでも新しく変わると、子どもたちが永南はなくなったんじゃない、強い者が弱い者を吸収したんじゃないという1つの形になるかなと思います。</p>
委員	<p>この間の統合協議会ニュースでも「永福小学校」にすると書いてあって、その補足として、「どちらか一方の校名がなくなるのではなくて、新たな気持ちで永福地域に小学校をつくり上げていく」と書いてあるんですよ。もうこれは一般的にこの地域にみんな配られているんですね。</p> <p>それですらまたそういう話も出てくるでしょう。ですから、本当に我々が一生懸命統合を考えてきたんだと言うんだったら、校章も校歌も一生懸命考えて、本当に地域の人にも、子どもたちにも理解されるようなものをつくらなきゃいけないと思います。その辺も考えると、私は子どもたちが参画してつくる校章・校歌が非常に大切になってくると思います。</p>
会長	<p>私は今の話を聞きながら、「統合」という言葉を説明しないからということはあると思いました。これはぜひ3月あるいは4月の保護者会の折にもきちっと説明していかなくてはいけないんですが、平成25年度には永福南小学校と永福小学校が一緒になって1つの新しい学校ができ上がるんです、それを統合と言うんですという形でね。どこかがなくなるということではなくて、一緒になって永福地区に新しい学校ができ上がりますということはきちっと伝えていかなくてはいけないと思っています。</p> <p>それは周知の問題だし、今、委員が言ったように、例えばここできちっと話し合われた内容でそういうような話が出てきたときには、「それは違</p>

	<p>いますよ」ときちっと修正していかなければいけないです。そういうことも私たちの仕事の1つだろうなと思っております。</p>
委員	<p>ごちゃごちゃにってしまうような質問なのですが、25年度にPTAも保護者も一緒になったそのときに、初めて校歌とか校章をどうするという話し合いをすれば、仲良く意見も出し合えると思います。</p> <p>一緒になってみないとわからないじゃないですか。もしかしたら子どもたちがすごくたくましくて、今懸念していることは、全然取り越し苦労だったということもあるかもしれないし。校章とか校歌はそういうふうになるまで待つというのは難しいんでしょうかね。やっぱりその前にきちんとつくって、周りもきちんと固めて、「はい、25年度から一緒になりました」としなればいけないんでしょうか。</p>
会長	<p>先ほども言いましたが、校歌を絶対につくらなければいけないとか、そういうことはないと思います。でも、校歌は、集まった最初にこの学校の歌ということで歌いましょうよということで、やはりつくっておきましょうという認識がされればそれはそれでいいし、いや、校歌はという部分がまだ理解が得られないのだったら、それはそれでまた話し合いを続けていかなければいけないとは思っています。そういうことも含めながら、ここできちっと論議をしていくことが必要でしょう。</p>
委員	<p>私はちょっと分けて考えたいんです。まず、学校経営上の哲学はしっかりしておいたほうがいいと思います。その基本となるのは、新しい学校の創設に当たっての理念は何かということと、すでに設定した教育目標で、これらが考え方の柱だと思います。</p> <p>次に、実際上の問題として保護者や地域の方はどう思うかということです。これはあまり哲学を振り回さないで対応した方がいいかもしれません。考え方は二つあるかと思います。</p> <p>一つは、永福南小にしても、永福小にしても、もう名前が決まったんだからいいじゃないかと。もうこれでいきましょうよ、という考え方です。もう一つは、やはりしっかりした考え方が協議会から発せられるべきで、私ども委員は、すでに決めたしっかりとした柱に向けて、着実に考えを組み立てていくということです。そういう共通理解をしていかないと、いつまでも問題は解決できないし、協議会の委員の中でさえ、きちんと整理がついていないということになると、周りの人たちにはさらにわからなくなります。だから、議長として会長さんもお苦勞なさっておられますけれども、その辺のことを考慮して進めていただきたいと思います。</p>
会長	<p>ある程度立場を担ってきているので、この中できちっと意見を言って、</p>

	話し合いをして、方向性を出してほしいということですね。
委員	<p>私も協議会の委員の中で基本的なことを決めていくべきだと思います。校歌について、必ずしも今日決めなければいけないわけではないんですが、前回のときに「新しい校歌をつくる」という意見と「新しい校歌をつくらない」という意見になっているわけです。だから、我々がまず協議しなくちゃいけないのは、新しい校歌をつくったほうがいいのか、つくらないほうがいいのかということです。この二者択一のところをきちっとやらないと、いつまでたっても、わかったようなわからないような議論になってくると思うんですよ。</p> <p>配布された資料で新しい校歌をつくるかつくらないかと集約しているんですから、まずそこからスタートするべきじゃないですか。そうじゃないと、全然前に進まないと思います。旧永福小学校の校歌がいいのか、永南小学校の校歌を採用するのか。新しい校歌をつくるのか。新しい校歌をつくらないということはどういうことかということも突っ込んで、きちっとしたほうがいいと思うんですね。</p> <p>その上で、これでいこうという次の方策が立つと思うんです。今はあっちに行ったりこっちに行ったりしています。方向性をまず決めようじゃないかというのが私の意見です。二者択一の中で、どちらの方向に向かっていこうじゃないかという意見をまとめたほうがいいと思います。</p>
会長	<p>今、委員から、新しい校歌をつくるのかつくらないのか、もうそこに絞って話を進めたらどうかというご意見が出されましたので、そういう方向で続けて話をしていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。(異議なし)</p> <p>それでは、そこに絞ってご意見をいただければと思います。</p>
委員	先ほども申しましたとおり、地域にも、新しい小学校をつくると言っているんですから、校歌も新しくすべきだと思います。
会長	今まで3件ほど、新しい校歌をつくったほうがいいというご意見をいただいておりますけれども、ほかにいかがでしょうか。
委員	<p>新しい校歌をつくらない場合は、第一校歌、第二校歌として両校の校歌を残すという方向があるんですけども、第一校歌なり第二校歌を使い分けることは現実的なんでしょうか。それとも、やはり校歌というものは1つであるべきものなのか。</p> <p>というのは、永福南小の校歌もすばらしいと思うし、永福小もすばらしい。それを今いる子どもたちがお互いを認め合うという方向でお互いの校歌を学ぶというんでしょうか、覚える。そういうことによって、またコ</p>

	<p>コミュニケーションがとれるんじゃないかなという思いがちょっとよぎったのです。</p> <p>子どもたちの意識を高める上で新しい校歌をつくる、新しい歌をみんなで歌うというのももちろん子どもたちの意識が高まると思うんですけども、それぞれの歌を覚え合うことで、また良さも出てくるんじゃないかと思いました。</p>
会長	<p>第一校歌、第二校歌という話が今ありました。第一校歌、第二校歌を持っている学校も幾つかあると聞いていますが、実際的には第一校歌も第二校歌もすたれていってしまうケースが多いと思います。</p> <p>それと、校歌が2つあるのは、統合していくということであれば、やっぱり適切ではないだろうと思います。それに、第二校歌として永福南小学校の歌を残したとしても、「永福南小学校」という文言が入っているので、それは校名とは違ってくる部分です。だから1つに統一していったほうがいいだろうという考えは持っています。何かそれについて異論がありましたら、また、現在、新しい校歌をつくっていかうというご意見を3件ほどいただいていますけど、それ以外はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>校歌の話に入る前に、どうしても永南のほうが児童が少ないので、その少数の意見を十分くみ入れてということが皆さんのベースにあると思うんです。ただ、そうは言っても、永福側にも意見があるわけです。</p> <p>そういう中で、100%双方が納得するのはなかなか難しく、最終的には多数の意見がそれなりに尊重されてしかるべきではないでしょうか。当然その中に少数の方の意見も組み入れなければいけないということだと思っんです。</p> <p>また、同窓会の人などは、杉並区が出した方針で統合となったけれども、別に今の規模で適正だろうし、無理やり統合する必要はない。それに合わせて校歌・校章も変える必要はないんじゃないか、と思っている方も多いわけです。</p> <p>両校の保護者や同窓生の人数を考えると、今後、統合した後、地域の学校運営に、より影響が大きいのはどっちかということもやはり考えていかなければいけない部分だと思っんです。</p> <p>卒業生などはそういう意見が多いんですが、私個人としては 意見は全部個人の意見なんですけれども、代表しているわけではないので。個人としては、やっぱり校歌・校章は統合をきっかけに変えてもいいんじゃないだろうか。私も卒業生なんですけれども、今の校歌の文言、私が卒業したころはまさにあのとおりの環境だったので思い入れはあるんですが、多</p>

	<p>分30周年以降から卒業した方はあんな景色がない中でああいう校歌を歌っているの、校歌としての思い出はあっても、あの歌詞についての思い出は余りないんじゃないかと。今後、そういう古い校歌を知っている層はどんどん減っていくわけですよ。ある期間はいろいろあったとしても、いずれそういうことになるんだから、変えてもそれほど影響がないんじゃないだろうかと思います。</p> <p>校歌は変えて、ただしサブ校歌というか、何という言い方をするのかわからないですけども、今の永福と永南の校歌は第一サブ校歌とか、第二サブ校歌みたいにしておいてもらって、学校として、本来の校歌ではなくてサブの校歌として認めますということで、あとは同窓会とかのときには今まで歌っていた歌を好きに歌ってもらえばいいじゃないのと。別に自分たちが卒業したときに歌いたいなら。ただ、学校の何周年行事とかのときには両方の歌を入れるとか、20年、30年ぐらいのスパンで見なければ、その後は新しい校歌を知っている方だけになってくるんだから、いいんじゃないかと。</p> <p>やはり統合して、気分が変わったというのをある程度知らしめることも必要だと思いますので、そのためには今の時代に即した校歌に変えたほうが、今のお子さん、もしくは今後のお子さんにはそのほうが思い出が深くなるんじゃないかなと考えますので、私は変えてもいい、変えることに反対ではありません。</p>
会長	<p>今の意見は、新しい校歌にしていくと。現在ある永福小学校、永福南小学校の校歌は、そのまま永福小学校、永福南小学校の校歌として残しておく。メモリアルホールに残しておいて、その時々同窓会とか、そういうことがあったときには、それぞれの人が自分の思い出のある校歌を歌っていくというようなご意見だったと思います。</p>
委員	<p>永福小学校の校歌は「永福小学校」という名前がどこにも入っていないでしょう。だから、演奏されている方にどこかで演奏してもらって、広めてもらったら、いいんじゃないかと私は思うんですね。永福小学校の校歌は非常にいい歌ですよ。だから、そういう意味でもメモリアルに残しておいて、あるいはそういう活動の方に広げてもらったら、「昔、永福小学校の校歌だったけれども、非常にいい歌なので」とやってもらったらいいんじゃないかと私は思います。</p>
委員	<p>私は、統合を機に一つでも新しいものができると、子どもたちが自分たちの学校が無くなるのではなくて、統合なんだと理解できるという意見にすごく心にぐっとくるものがあつたんですね。ですから、校歌を新し</p>

	<p>くするという意見にも一理あるかと思いました。その部分は本当に子どもたちのことを考えたら、やはり私たちが一番考えなければいけない切なる願いなんじゃないかなと思いました。</p>
委員	<p>さっき第一校歌、第二校歌を1年の間で何回か歌ったらどうかという意見をさせてもらったのは、やっぱりベースにあるのは子どもたちの意識を高めること、一緒になって仲良くやっていくんだというベースがありますので、そういう意味でも新しい校歌をつくっていくこともありなのかなと感じます。</p>
委員	<p>子どもたちの人数的なもので学校でどうこうという心配は、学校の教職員の方にある程度お任せして、そのヘルプの部分だけ私たちは考えればいいことなので、今はちょっと置いておきます。</p> <p>やはり地域にある永福小学校ということで、ちょっと紛らわしいんですが、「永福」で変わっていないので、「永福は」と言ってしまうんですが、学校を卒業されたり在校生だったら、校歌に思い入れがあるのは当たり前なことなんです。では、それを第一にするか、第二にするかという順番をつけることはやめてほしいと思います。</p> <p>先ほどの意見のように、同窓会で同窓生が自分たちの在学時代に歌ってきたものを歌うのは別に構わないと思います。でも、地域にある今の永福小学校、25年度からの永福小学校ということであれば、やはり新しくつくるほうがベターなのかなと。ベストとは言えませんが、ベターなのかなと私は思います。</p>
委員	<p>私は新しい校歌をつくったほうがいいという基本的な考え方です。それは皆さんもお話があったとおり、長い歴史があるんですけども、統合しましたので、統合した記念で新しく校歌をつくり直したほうがいいという考え方です。また、その延長線で、校歌・校章はつくり直したほうがいいという基本的な考え方を持っています。</p>
委員	<p>なかなか難しいお話ですね。たった1つの校歌・校章を決めることに、こんなにたくさんの意見が出るとは私には想像もつきませんでした。</p> <p>私は「新しい校歌をつくらない」という意見です。何故かというと、私は親の都合で義務教育の時代に学校を二、三かわったことがあるんです。どの学校に行っても、多分校歌はあったろうと思いますが、1つも覚えておりません。そういう人間もいるんだということですね。校歌がそんなに大事なもののかなと思うところがあるわけです。</p> <p>それから、先ほど話があったように、その時代の永福小学校の校歌の歌詞が今にそぐわないというお話が出ておりましたが、そぐう、そぐわない</p>

	<p>の話はどうなのでしょうかね。私、義務教育とはちょっと違うかもしれませんが、行っていた学校では「見よ清浄の淀橋に」と今でも歌われているんです。今、淀橋は全然「見よ清浄」じゃないんですね。ということは、この懐かしい60年前の歌詞でいいんじゃないのかという気がしたわけです。</p> <p>それほど私は校歌ということについて、自分のことですが、幾つもかわってしまったということもあるせいか、どの学校の校歌も義務教育時代のものは覚えていません。本当に頭から消えています。永福小学校に立派な60年という歴史のある歌があるわけですので、それが古いとか、今にそぐわないとかいうことはちょっと置いておいて、私は今でもあんな古い時代の歌を懐かしく歌わせていただいているという事実がありますので、こんなことをちょっと言わせてもらいました。</p>
委員	<p>私は新しくするといいなと思います。子どもたちは新しい学校になるという意識がまだ余りないですし、何か両校の子どもたちの共通のスタートラインみたいなもの、新しい校歌を覚えるとかつくるという共通でやれるようなことがあると、意識も高まるんじゃないかと思います。</p>
会長	<p>ほかにいろいろご意見をいただければと思いますけれども、大体皆さん、ご発言されましたね。</p> <p>それでは、やはりある程度方向性を出していくということで、きょうのお話し合いを聞いた中で、ここである程度考えを示させていただくという形でもよろしいでしょうか。(異議なし)</p> <p>新しい校歌はつくっていく、そして、現在ある永福南小学校、永福小学校の校歌はそのままメモリアルルームに残して、その曲そのものは尊重して、同窓会とか、そういうときには歌えるようにしていくという形にしたいと思いますけれども、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>できれば生徒さんにも両方とも教えてほしいんです。</p>
会長	<p>はい。その辺についてはまたどのような形でということでも詰めさせていただきますけれども、一応つくるかつくらないかということについては、つくるという形にしようと思っておりますが、よろしいでしょうか。(異議なし)</p> <p>また、統合協議会ニュースの取り扱いでは、校歌は変えます、校章はどうしますということの報告を出していくということで、特にご意見をいただくという形はとらないということでもよろしいですね。</p> <p>では、アナウンスについては、統合協議会ニュース等を活用していくということで、よろしいでしょうか。(異議なし)</p>

委員	<p>今、アナウンスのお話が出ましたけれども、一番怖いのは、地域の人間がそこかしこで、「いや、本当はこうだったんだよね」という話が出て、それが子どもの耳に入ったりして、あらぬ風評が流れていくのがすごく嫌なんです。子どもの心を傷つけてしまって。</p> <p>今度、25年度の出発のときにはそういう影響が少しでも少なくなるように、私たち大人が井戸端会議で余り乱暴な意見交換はしないように、前向きに「統合」ということで話し合いをしていくように心がけをしていかなないと、子どもに保護者の気持ちが通じますから、そこは一番気をつけていかなければいけないと思います。地域の方々にご意見を伺うのもそうですが、「協議会で話し合っただけでこういう形に決まりましたので、ご協力をお願いします」という形で持っていけない段階に入ってきていると思います。私たちは発言に気をつけていきたいと考えますが、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>大事なことだと思います。1つの意見、だれかの意見で決まったわけではなくて、あくまでもここは統合協議会全体の話し合いの中で、総意で決まったことですので、その辺は統合協議会の中でさまざまなことがこれから決まっていきますので、そういうこととしてお伝えいただきたいと思っています。</p> <p>今回の校歌を変えることに決まりましたということにつきましても、ホームページでアップするまではこの委員だけの心の中にとめておいていただいて、時限秘という形にしたいと思いますので、よろしく願いしたいと思います。</p> <p>ほかに何か今後のことについてよろしいでしょうか。(なし)</p> <p>それでは、続いて、報告のほうに移りたいと思います。</p>
学校適正配置 担当係長	<p>資料2をご用意ください。統合に向けた夏季休業中の工事等の説明をさせていただきます。</p>
学校適正配置 担当係長付主 査	<p>この件については今まで何回か報告をしていますが、確認の意味も含めまして説明させていただきます。</p> <p>資料中茶色でマークしているのが今年の夏休み期間中に工事をするところです。それから、1箇所青色のマークは25年の夏休みに実施します。</p> <p>今年のメインは外壁塗装工事です。1階図工室には空調機を設置します。その隣の隣の職員室、これは統合により職員数がふえるので、印刷室と放送室をつぶして職員室を拡大します。現在の倉庫と少人数教室は、それに伴って2学期から印刷室と放送室に変わります。給食室については、学級数が増えるので機器の増設をします。</p>

	<p>2階理科室は図工室と同様に空調機を設置します。現家庭科室・準備室については、普通教室（2室）に改修します。そして、3階の現コンピュータ室に家庭科室が移ります。コンピュータ室については、現在工事中の特別教室棟に新設します。</p> <p>1階図書室については、特別教室棟に新設されるので、25年度の夏季休暇中に会議室と少人数教室に改修します、ここは普通教室に転用が可能な部屋となります。</p>
学校適正配置 担当係長	<p>1点補足します。外壁塗装工事に伴い、これは既存校舎の周囲に足場を建てます。そうすると、これは一部を除いて夏休みが始まってからになるんですが、どういう影響が出るかということ、夏休みの間、校庭が使えなくなります。</p> <p>ただ、ラジオ体操と震災訓練には影響がないようにします。</p>
会長	夏休み中の改修工事について説明がありました。ご質問はいかがでしょうか。
委員	理科室の床がはがれていたり、斜めになっていたり、床と床のすき間に薬品が入ってしまったりで、危険な薬品もいろいろあるでしょうから、すごく心配だというお話を以前していたんですけども、このときには床の張りかえは考えていないのでしょうか。
学校適正配置 担当係長	ことしの夏に関しては空調機の設置だけです。ただ、今説明したのは統合に係る改修工事のことで、通常の一般改修工事は別ですので、必要があれば、学校側と打合せして対処したいと思います。
会長	では、その辺はまた学校のほうから要望を出していきます。ほかによろしいでしょうか。
委員	新しい放送室も直接外に出られるのでしょうか。現在の放送室は外部への出入りができて、ラジオ体操・震災救援所設置の際は非常に便利なのです。
会長	1階にある部屋は大体外に出られるような仕組みになっているので、多分平気だと思うんですけども。
永福小副校長	黒板側に出口があります。
会長	ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。（なし） 続いて、その他、PTAからよろしいですか。
委員	2月15日にPTA連絡会を行いました。そこで会則について話し合ったのですが、体制とか組織も永南小は小規模の対応になっているので、永福小学校に合わせていったほうがいいのではないかということになりました。会則も基本的に永福小学校のものを使っていこうという話し合いに

	<p>なっています。</p> <p>そのほかにも業務の調整をこれからしていかなければいけないので、サークル対応や委員会の役割も話し合っていくことになっています。</p> <p>次回は3月19日を予定していて、新年度の役員をどのように考えていったらいいかということについて話し合います。</p> <p>またPTA交流会は、前回お話ししたとおり、2月25日に永南小で行う予定です。</p>
会長	ほかに、学校、教員関係のほうで何かありますでしょうか。
永福小副校長	来年の教育課程に向けて、今、両校の担当が話し合っていて進めています。
会長	<p>特色ある教育活動というのがあり、両校共同で「花いっぱい運動」という取り組みを行っています。先日永福南小学校と一緒に教育委員会でプレゼンをしました。来年1年間、それぞれの学校で花を育てて、それを地域の機関、あるいは保育園、幼稚園のお世話になった方々にお渡しして、交流を深めていく予定になっています。</p> <p>それでは、続いて、次回の日程を決めたいと思います。</p>
	(日程調整)
会長	<p>では、3月12日(月曜日)の10時から永福南小学校です。ありがとうございました。</p> <p>次回は校章についての話を進めていこうと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>では、最後に副会長、よろしくをお願いします。</p>
副会長	<p>私ごとで非常に恐縮なんですけれども、今日は校歌の話でしたが、自分の小学校の校歌は私は歌えます。ところが、中学校の校歌は私は歌えないんです。なぜかというと、トランペットを吹いて伴奏をしていたからなのです。また、私は都立新宿高校だったんですが、昔、都立六中でしたので、「六中健児の歌」を野球の応援などのときに歌ったんです。</p> <p>どういうことかということ、自分は学校に対する歌の思いというのはあるんです。歌詞じゃなくて、その曲にね。今回も新しい校歌を決めるということで、今度新しくなった学校の校歌が、またその学校にかかわる人たちの思いの1つの象徴になるといいなと願っております。きょうは本当にありがとうございました。</p>
会長	では、以上で終わります。ありがとうございました。

仮想的有能感：他人を軽視することで自分を肯定する考え方のこと。クラスメートや同僚に対し、優越感を持つとうとする意識が極めて高いため起こる。